資料３－１

荷主実態調査結果集計表

〇岩手県内の畜産品関連企業のうち事業規模の大きい企業を抽出して実施

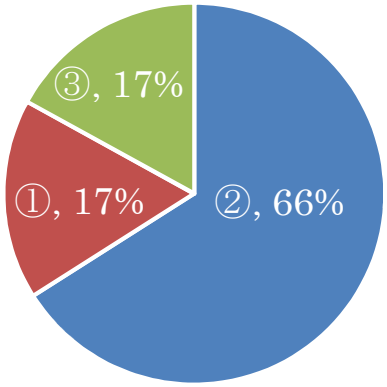
〇調査票送付数１０、回収数６

【１．取引環境と長時間労働改善に向けたガイドラインの活用状況】

（問 1）昨年度配布したガイドラインの内容確認をしましたか。

	回答数	割合
①内容を確認したが、具体的に長時間労働改善に向けた取組は行っていない	1	17%
②内容を確認し、長時間労働改善に向けた取組を行っている。	4	66%
③内容を確認していない	1	17%

ガイドラインの活用状況



（問 1-2）ガイドラインの内容を確認したが、長時間労働改善に向けた取組を行っていない理由。

（自由記述）

【理由】

・出荷台数が限られており、待ち時間が少なくほとんどがパレット積みであるため。
　但し、保管倉庫が３カ所の為、どうしても３カ所積みが発生してしまう。

（問 2）長時間労働改善に向けた取組の内容。

（自由記述）

【内容】

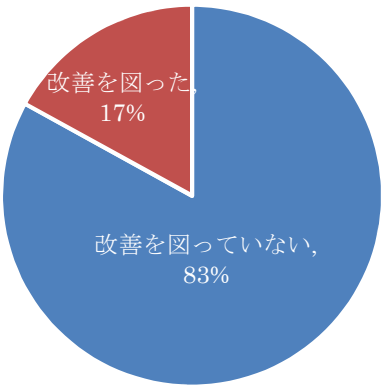
・引き取り箇所の削減。
・積込み時の効率化。
・積込み時間に合わせトラック接車時間を決めている。
・パレット配送の検討、荷おろし場所、時間の調整。

【２．荷役・手待ち時間の改善状況】

（問 3）荷役方法について改善を図られましたか。

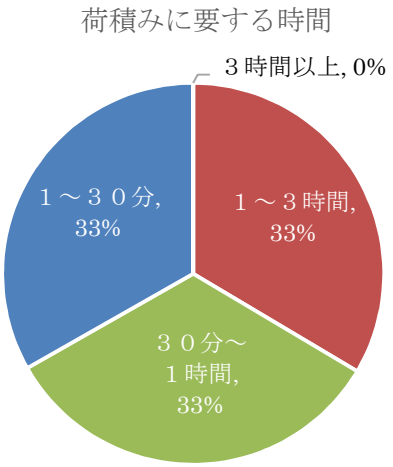
	回答数	割合	備考
改善を図った	1	17%	新工場稼働によるパレット積み方式への移行
改善を図っていない	5	83%	

荷役方法の改善状況



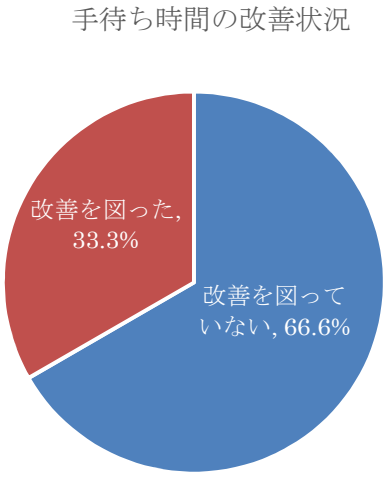
（問 4）荷積み時間はドライバーの待ち時間を除くと、どれぐらいを要していますか。

	回答数	割合
１～３０分	2	33.3%
３０分～１時間	2	33.3%
１～３時間	2	33.3%
３時間以上	0	



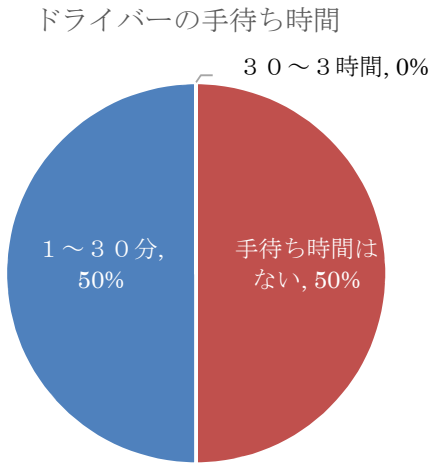
（問 5）ドライバーの手待ち時間について改善を図られましたか。

	回答数	割合	備考
改善を図った	2	33.3%	・出向品の早期完了と整理整頓 ・出荷ロレイアウトの変更による改善
改善を図っていない	4	66.6%	



（問 6）ドライバーの手待ち時間はありますか。

	回答数	割合
手待ち時間はない	3	50%
１～３０分	3	50%
３０分～１時間	0	0%
１～３時間	0	0%



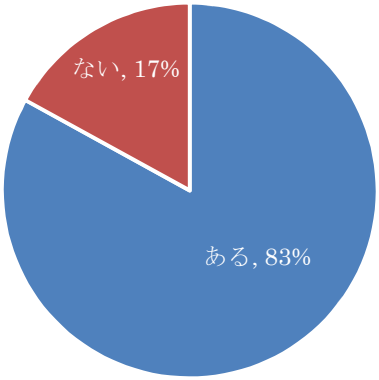
【３．課題に対する対応】

（問 7）運送事業者と定期的に話し合いの場を持つことはありますか。

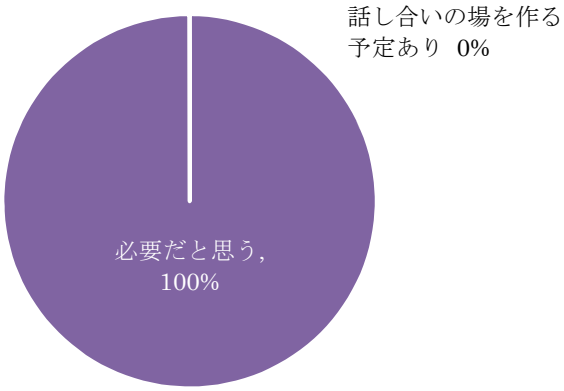
	回答数	割合		回答数	割合
ある	5	83%			
ない	1	17%	話し合いの場を作る予定あり	0	0%
			必要だと思う	1	100%

定期的な話し合いの場

定期的な話し合いの場の有無



（ないの場合）今後話し合いの場が必要だと思うか



【４．今後の運送業界について】

（問 8）荷主側としての今後の配慮、工夫について

・原料引き取り箇所の削減とスムーズな積込み。

・長距離輸送はモーダルシフト（鉄道コンテナ）を利用していく。

・ドライバーの意見に耳を傾けることが重要。

・同業他社と同じ配送先があるので共同配送などを考えていく必要がある。

・運送会社より改善にかかる申し出があった際は検討することとする。

（問 9）今後、運送事業者との取引環境において、危惧されていること

・時間対応（納品、引き取り）の遅れ

・ドライバー不足、高齢化。

【５．その他意見について】

・アンケートはＷｅｂでやってはどうか

資料３－２

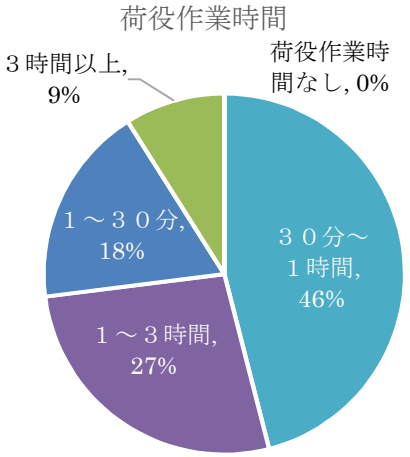
畜産品関連運送事業者実態調査結果集計表

○荷主実態調査票に依頼先として回答のあった運送事業者へ送付
○調査票送付数１３、回収数１１

【１．畜産品の運送について】

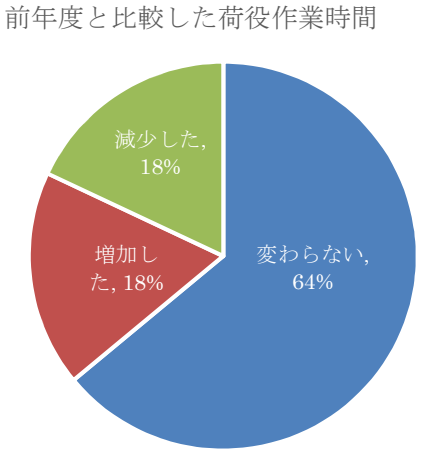
（１）畜産品関係の平均的な荷役作業時間

	回答数	割合
荷役作業時間なし	0	0%
１～３０分	2	18%
３０分～１時間	5	46%
１～３時間	3	27%
３時間以上	1	9%



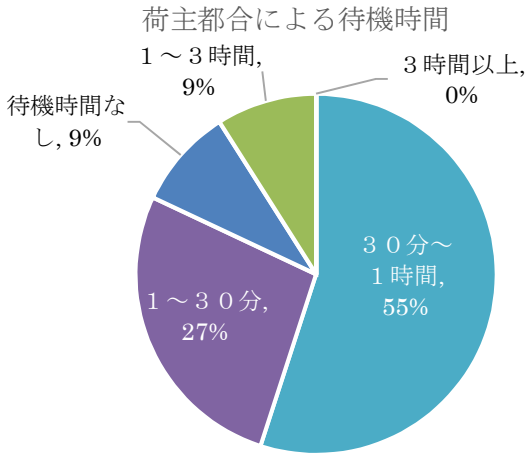
（２）前年度と比較した荷役作業時間

	回答数	割合
増加した	2	18%
変わらない	7	64%
減少した	2	18%



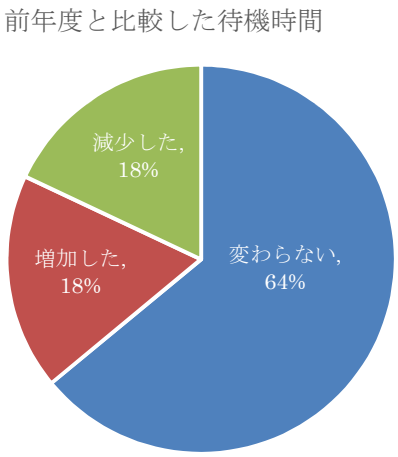
（３）荷主都合による待機時間

	回答数	割合
待機時間なし	1	9%
１～３０分	3	27%
３０分～１時間	6	55%
１～３時間	1	9%
３時間以上	0	0%



（４）前年度と比較した荷主都合による待機時間

	回答数	割合
増加した	2	18%
変わらない	7	64%
減少した	2	18%



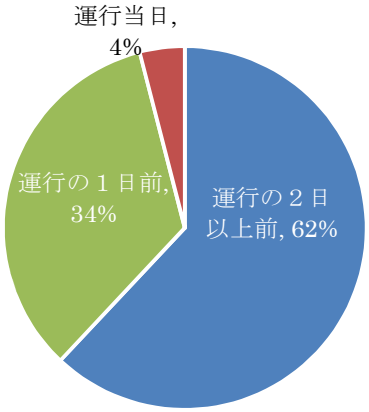
【２．荷主企業との取引関係について】

（１）畜産品に関する取引関係について、それぞれご回答下さい。

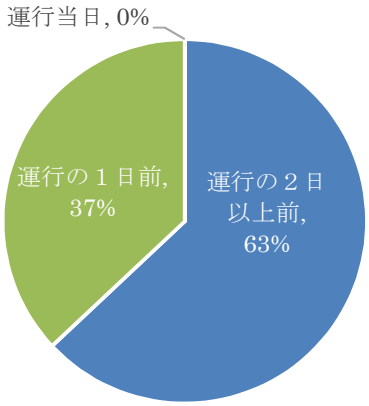
内　　訳		元請けとして直接取引している真の荷主	下請けとして入っている元請け運送事業者
運送依頼の時期	運行当日	4%	0%
	運行の１日前	34%	37%
	運行の２日以上前	62%	63%
時間指定の有無	時間指定あり	21%	33%
	午前・午後の指定あり	49%	7%
	時間指定なし	30%	60%
荷役作業の割合	手荷役	37%	57%
	パレット崩し手荷役	19%	23%
	フォークリフト荷役（ドライバーが作業）	2%	0%
	フォークリフト荷役（荷主側が作業）	23%	0%
	ロールボックス荷役	0%	0%
	その他	19%	20%
上記荷役作業以外の附帯作業の割合	上記荷役作業以外の附帯作業あり	29%	17%
	上記荷役作業以外の附帯作業なし	71%	83%
荷役作業、附帯作業に対する書面化の有無	書面化している	50%	67%
	口頭で依頼	32%	33%
	事前連絡なし	18%	0%

荷役作業の料金収受の有無	収受している	27%	0%
	収受していない	73%	100%
附帯作業の料金収受の有無	収受している	27%	0%
	収受していない	73%	100%
待機時間料の収受の有無	収受している	18%	0%
	収受していない	57%	73%
	荷主都合の待機時間が発生していない	25%	27%
荷主との定期的な話し合いの場の有無	話し合いの場がある	73%	50%
	話し合いの場がない	27%	50%

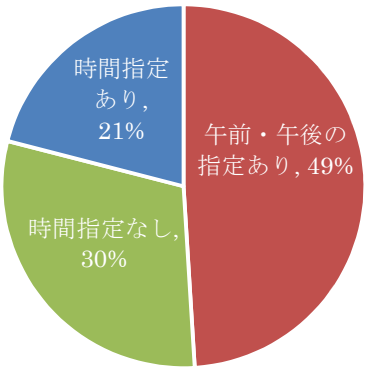
運送依頼の時期（元請け）



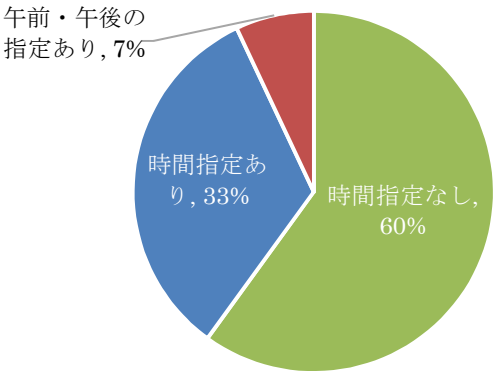
運送依頼の時期（下請け）



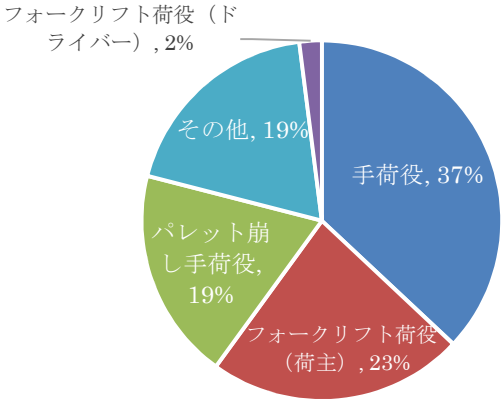
時間指定の有無（元請け）



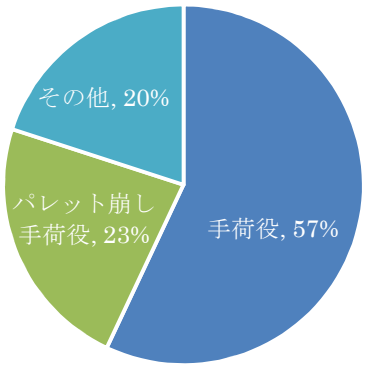
時間指定の有無（下請け）



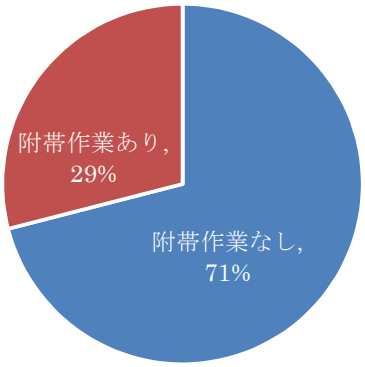
荷役作業の割合（元請け）



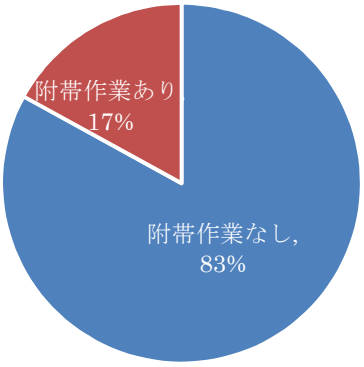
荷役作業の割合（下請け）



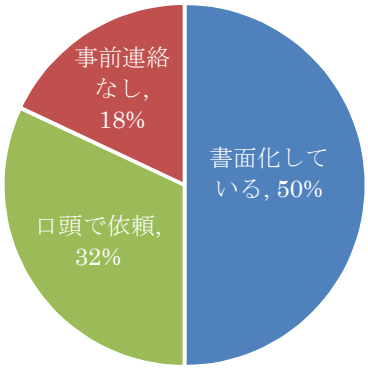
荷役作業以外の附帯作業の割合（元請け）



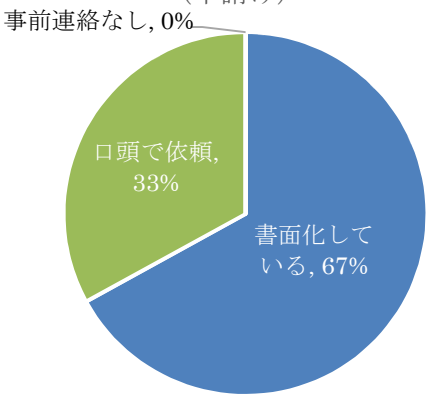
荷役作業以外の附帯作業の割合（下請け）



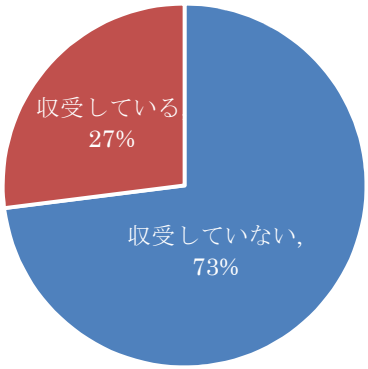
荷役作業、附帯作業の書面化の有無（元請け）



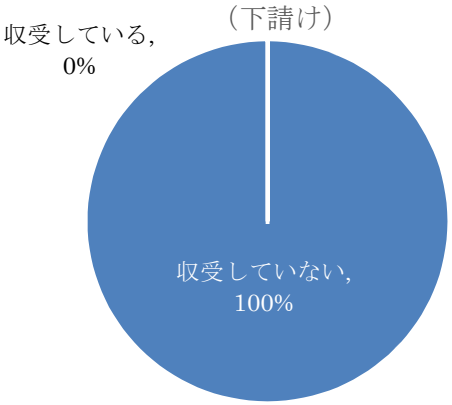
荷役作業、附帯作業の書面化の有無（下請け）



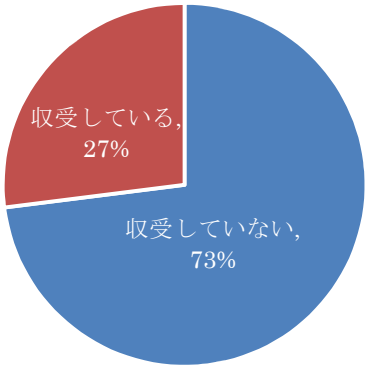
荷役作業の料金収受の有無（元請け）



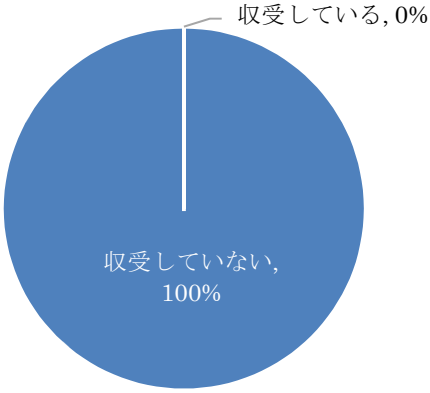
荷役作業の料金収受の有無（下請け）

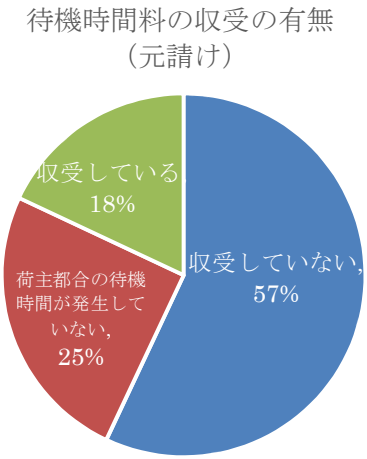


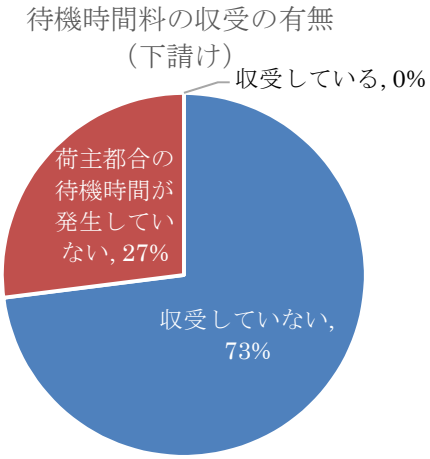
附帯作業の料金収受の有無（元請け）

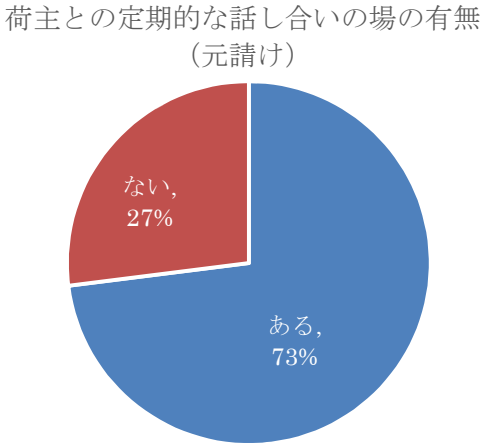


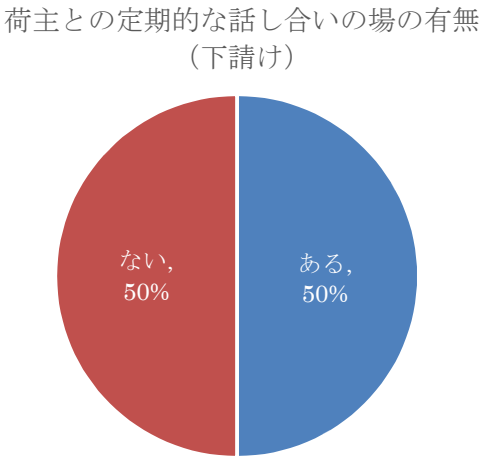
附帯作業の料金収受の有無（下請け）





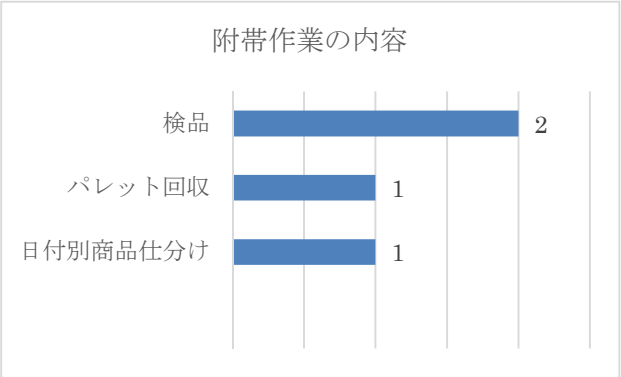






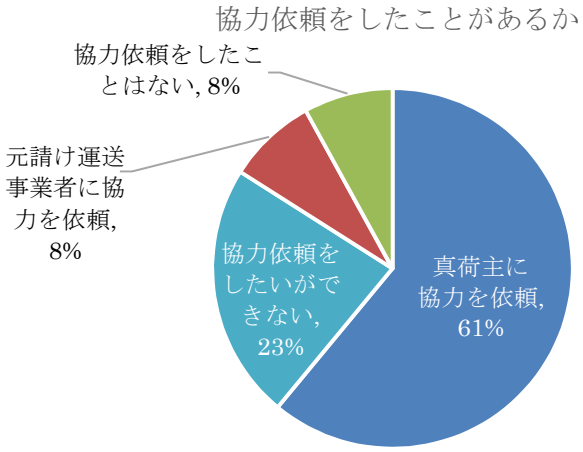
（２）「上記荷役作業以外の附帯作業あり」の場合、附帯作業の内容をお答えください。

	回答数
検品	2
パレット回収	1
日付別商品仕分け	1



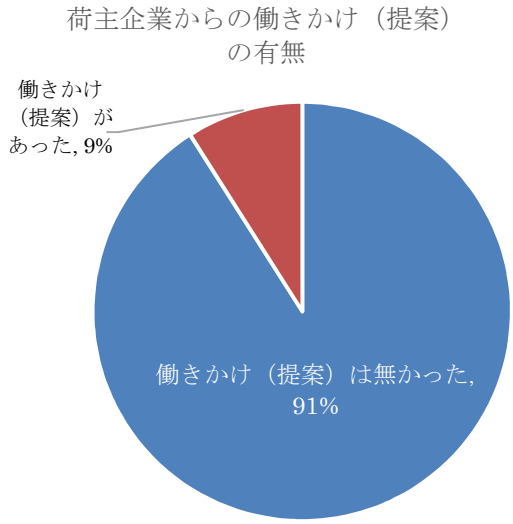
（３）荷主企業に対して時間短縮（作業効率化）への協力を依頼したことがありますか。
協力を依頼したことがある場合、その内容をご記入ください。また依頼に対してどの程度協力が得られましたか。協力を得られた場合はその程度、改善された内容をご記入ください。

	回答数	割合	協力依頼の内容	協力の程度	改善内容
真荷主（※元請運送事業者に発注した荷主）に協力を依頼	8	61%	到着時間の変更。	100%	（無回答）
			荷積待機時間、作業時間の短縮。効率の良い配送先の着時間変更又はルート変更。	80%～90%	荷積順の時間を車両ごとに指定。 全てパレットでの荷役作業。
			待機時間の削減、積込み場所の削減。	20%	パレット化の推進。
			到着時間の変更。	50%	時間指定の廃止。
			到着時間、出発時間の調整。	100%	（無回答）
元請け運送事業者に協力を依頼	1	8%	到着時間の変更	50%	時間指定の廃止。
協力依頼をしたいができない	3	23%			・具体策を提案できない ・荷主の設備設置などの費用面がかかる。 ・急な商品追加等があった場合は製造が追いつかなくなり、結果として待機や時間指定の集荷になってしまう。
協力依頼をしたことはない	1	8%			



（４）前年度以降、荷主企業からの荷役時間・待機時間短縮（作業効率化）にかかる働きかけ（提案）の有無。

	回答数	割合
働きかけ（提案）があった。	1	9%
働きかけ（提案）は無かった。	10	91%

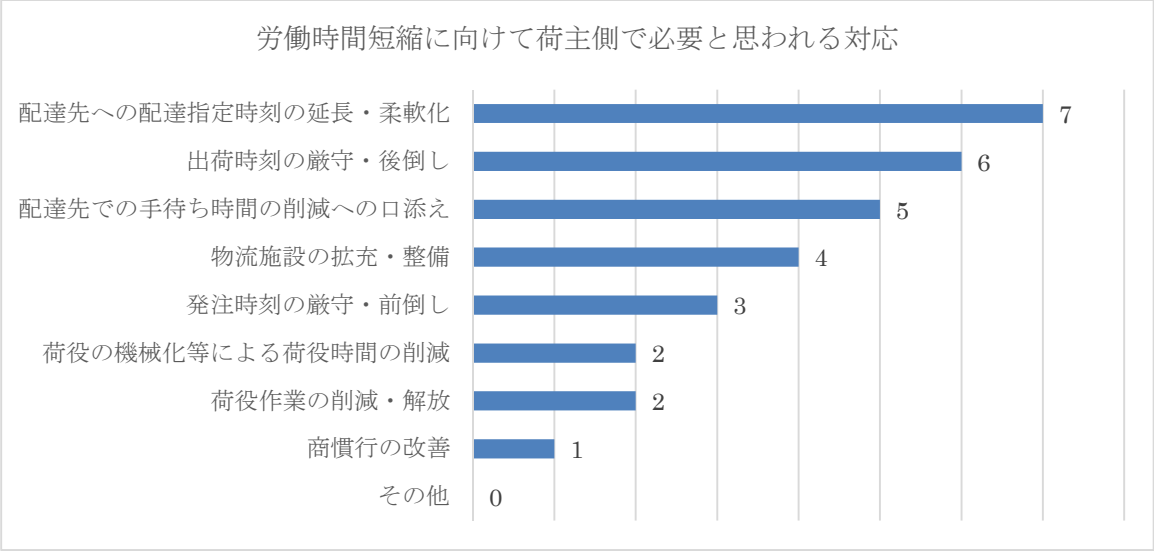


（５）働きかけ（提案）の内容

・休息時間確保のため、到着時間・出発時間の調整を提案し協力して調整していただいた。

（６）労働時間短縮に向けて荷主側で必要と思われる対応についてお答え下さい。（複数回答可）

	回答数	割合
荷役の機械化等による荷役時間の削減	2	7%
商慣行の改善	1	3%
発注時刻の厳守・前倒し	3	10%
出荷時刻の厳守・後倒し	6	20%
荷役作業の削減・解放	2	7%
配達先への配達指定時刻の延長・柔軟化	7	23%
配達先での手待ち時間の削減への口添え	5	17%
物流施設の拡充・整備	4	13%
その他	0	0%



（７）長労働時間の実態やその要因、労働時間短縮に向けたお考えやご意見・ご提案があれば、ご自由に回答下さい。

・自社が岩手県北から関東方面へ配送しているが、物流の拠点がもう少し北側（栃木、群馬、茨城）にあればと思う。自社だけではなかなか難しいが、労働時間短縮に向けて荷主企業と色々な方法を協議中である。

・荷主あての発注時刻が荷主の顧客都合での発注となるため、力関係もあり、発注時刻を早めることができず、その結果発注がギリギリとなってしまい出荷にも影響をしている。同業者で悪条件でも受けるところが有ると、荷主に強く意見をした場合、他業者に仕事が移ることもある。

・運送費構成に関東圏への場合「全線高速利用」を法令で義務化をしてもらいたい。

・荷主の権限が強すぎて、運送事業者側のことは考えていない又は考えるつもりがない。

・人手不足となっている。

・荷主と下請けの関係性があるので依頼しづらいのが現状となっているので、依頼しやすい環境が欲しい。